



みみらく

びらす

地域支援センター「みみらんど ぶくしま」

第3号 H31. 2. 27



「みみらんど ぶくしま」から、耳ときこえに関する情報をお届けします。第3号は「聴覚障害児の保護者支援についてです。」

『子が大事だから、保護者（母）も大事』



* 待望の赤ちゃんの誕生に安堵と喜びに満ちている母親や家族にとって、お子さんの「聴覚障がい」という現実を理解し受け入れるためには、**周囲の人たちの温かなサポートが不可欠です。**

特に、障がいの発見により、両親の不安、混乱がある場合には、新生児期からの発達に十分な知識と、聴覚障がい乳幼児への指導経験の深い教員が、最早期からご家族を支援する中で、子どもの発達支援を進めることができます。

福島校の乳幼児教育相談における保護者支援



◇両親、特に育児の中心となるお母さんの悩みを受け止めます。

- ・『私たちが、この子を育てていく。』『私にもこの子を育てることができる。』という思いや自信が持てるように、共に悩み、共に考えます。

◇個々の実情に応じて、望ましい育児へと支援します。

- ・安定した環境や生活リズムの中で、安定した育児が実現できるように・・・
- ・お母さんが、ご自身の思いを大事にして子育てができるように、配慮と工夫をお伝えします。

◇月齢や発達の状態、その他の特性に応じて、子どもへのかかわり方等アドバイスができます。

- ・母子間の共感関係を支援し、コミュニケーションの土台が育まれるように支援します。
『同じものを見て、同じ気持ちで楽しんだり、驚いたり、不思議がったりできるように・・・』
- ・聴覚活用への支援
(補聴習慣が身に付くまでのサポート・子どもの聴性反応の把握・聞くことや自発的な発声を促す生活の仕方・実例を示して両親の日常のかかわり方等)
- ・多様なコミュニケーション手段の活用
(絵カード・写真カード・身振り・手話・指文字・文字・発音サイン等)
- ・言語発達段階を踏まえた言葉の育て方
- ・発音について

◇現在や将来に関する情報の提供ができます。

- ・聞こえやことばに関すること
- ・補聴器や人工内耳、その他の最新の補聴システムについて
- ・障害認識に関すること



◇医療・保健機関との密接な連携のもと支援を行います。

★地域支援センター『みみらんど ぶくしま』では、聞こえにくさによる聞こえやことばの支援が0歳から行えます。今後も ご活用ください。